

みんなの議会

4 年度一般会計当初予算…… (02) ロシアへの抗議を決議…… (06)

敬老祝金支給条例改正 …… (07) 10 人が問う 一般質問…… (09)

令和4年
3月
定例会

長崎県長与町議会



photo title : いつもの道(まなび野)

のための予算を審査

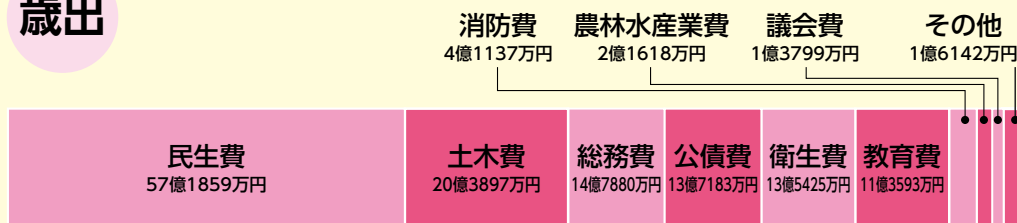
可決
賛成11:反対3

当初予算 140 億 2533 万円

歳入



歳出



(数値は端数を処理しています)

令和4年度第1回定例会を3月1日から16日まで開催しました。
一般会計予算をはじめ各特別会計の新年度予算案や敬老祝金支給条例改正案など、26議案を審査し、いずれも可決しました。

議会が注目した事業



1億1623
万円

新型コロナウイルス対策事業(予防接種)



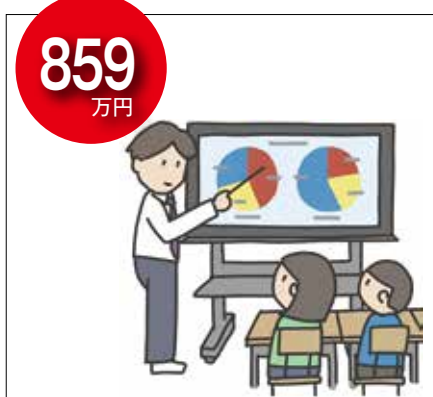
1882
万円

高齢者交通費・健康づくり助成事業



1545
万円

病児・病後児保育事業



859
万円

小中学校へ電子黒板を導入



100
万円

危険な空家の除去に補助金



55
万円

※写真は川棚町のご当地ナンバープレート

ご当地ナンバープレート導入事業

持続可能なまちづくり

令和4年度一般会計

主な質疑

道の尾に被爆モニュメント

Q 被爆遺構モニュメントの設置場所と内容はどのようなものか。

A 道ノ尾駅周辺、構内も含めたところで関係機関と協議する。モニュメントは長与駅に設置している物より、一回り小さい車輪を設置する。

新図書館複合施設整備計画

Q 複合施設整備事業準備支援業務とは何か。

A 設計業者はプロポーザル(※)での選定を想定している。その実施にあたり、関係職員への必要な知識習得のための研修やプロポーザル実施要領の作成支援、審査体制の構築や準備などである。

Q スケジュールはどうなっているか。

A 新図書館整備検討委員会を10回ほど開催し、図書館の基本構想・基本計画を改訂する。また、令和4年12月頃までに、健康センター整備基本計画と合わせた複合施設整備計画を作り、設計業者を選定するプロポーザルを実施する。

グリーンツーリズム推進

Q グリーンツーリズムの内容は何か。

A みかん狩り、オリーブ収穫や漁業体験のプログラムがある。現在7団体が加入、10団体に増やしていきたい。

スポーツ施設使用料口座振替

Q スポーツ施設使用料の口座振替は、年に1、2回使用する人も登録が必要なのか。

A 納付書払いも可能としている。

自治会加入を推進

Q 自治会加入促進動画を作成してどの様に活用するのか。

A ホームページやSNSを活用して、幅広く住民の目に触れるように取り組むたい。

反対討論

敬老祝金を削減する予算

長年我が国と町の発展に寄与してきた感謝の気持ちである祝金を削減するという事実は消えない。

(堤)

大型事業中心の予算

住民サービスのわずかな予算でも縮小に迫られる大型事業中心の予算は住民の声に応える予算ではない。

(河野)

賛成討論

遊び心のある町が具体化

原付のご当地ナンバープレート導入事業や、グリーンツーリズム推進事業など町のイメージアップによって交流人口や移住定住促進につながるものと期待する。

(八木)

※プロポーザル

製品やサービス、事業について提案を求め、提案内容のほか、方針、実施体制、実績なども含め、総合的に優れている企業を選定する方法。

全会一致
可決

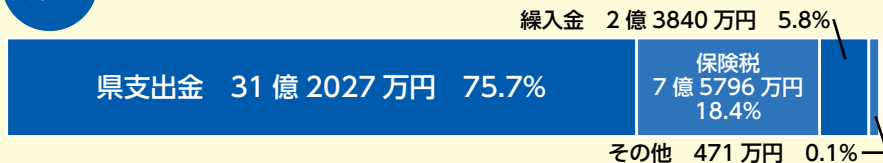
未就学児の国保税を減額

4年度国民健康保険特別会計予算

41億2134万円

国保世帯見込数 4844世帯（前年度4883世帯）
被保険者見込数 7723人（前年度7877人）

歳入



歳出



制度改正により、未就学児については、子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、令和4年度より国民健康保険税が減額されます。

主な質疑

Q 特定健診受診はどのように周知しているか。

A 受診勧奨については、いろいろな場面を利用して、広報、周知を行っており、特徴的な取組としては、令和3年度からAIを使った受診勧奨を行っている。また、個人毎の過去の受診実績などに応じて勧奨の文面を変えて、その人にあった勧奨を行っている。

可決

賛成12：反対2

保険料約7・2%
引き上げ

4年度後期高齢者医療特別会計予算

6億1025万円

被保険者見込数 5520人（前年度5203人）

反対討論

保険料引き上げが続いている

高齢者が増えるほど、また、医療費が増えるほど、被保険者の負担が増える制度設計となっている。これまでも見直しの度に保険料の引き上げが続いている。

（堤）

賛成討論

制度維持のため致し方ない

保険料の引き上げや窓口負担が見直され、被保険者の負担が増え大変厳しいが、制度維持のためには致し方ない。

（竹中）

全会一致
可決

介護予防事業
新型コロナの影響は

4年度介護保険特別会計予算

29億5345万円

被保険者見込数 1万1359人（前年度1万1235人）

主な質疑

Q 次期事業計画に向けたアンケート調査の対象者は。

A 2種類実施する予定にしている。一つ目は65歳以上で要介護認定などを受けていない1200人。二つ目は要介護認定を受けている800人である。

Q 介護予防事業のめだか85や、お元気クラブ、いきいきサロンなど、新型コロナウイルスの影響はなかったのか。

A 施設の利用自粛期間は、集合しての開催はしていないが、介護予防資料の送付や電話による代替開催の対応を行った。

可決
賛成12:反対2

高田南土地区画整理事業 一括施工3年目にむけて

4年度土地区画整理事業特別会計予算

12億2514万円

主な質疑

Q 令和3年度繰越費用で行う
工事内容は何か。

A 一括施工区域の4工区・5
工区の切り土および盛り土
を行う。

Q 切り土および盛り土の工事
終了の時期はいつか。

A 令和4年10月頃の予定であ
る。

Q 今後、単独事業の割合が多
くなるようだがその理由は
何か。

A 令和2年度以降、積極的に
補助金を活用し前倒しで
行ってきた。そのため、4
年度以降は単独費が増えて
くる。

反対討論

財源が優先されている

令和4年度も多くの財源
を注ぎ込む予算となってい
る。行政は、住民の福祉の
向上を目的とする施策を検
討し取り組む責任がある。
本事業へ財源が優先されて
いることに反対である。

(河野)

賛成討論

事業の進捗が見えてきた

本事業は30数年が経過し、
令和3年度には一部の宅地
造成が完了し、ようやく事
業の進捗がより目に見える
形となってきた。6年度の
事業完成に向けて着実に進め
ることを望む。

(西田)

**全会一致
可決**

新浄水場 長崎市と検討

4年度水道事業会計予算

収益的収入	8億1,902万円
収益的支出	7億2,774万円
資本的収入	2億1,738万円
資本的支出	3億4,644万円
給水戸数	15,987戸
年間給水量	372万9,741m ³
1日平均給水量	10,218m ³

主な質疑

Q 時間外手当が増えている。職員
数を減らした弊害ではないのか。

A 職員でないとできない作業もあ
り、負担はかかっているのが実
情である。

Q 第1浄水場（嬉里郷）は最終的
に更地にするのか。また、時期
はいつ頃か。

A 利用がなければ更地にする。時
期は、早くても令和10年頃になる。

**全会一致
可決**

浄化センター施設の 長寿命化を図る

4年度下水道事業会計予算

収益的収入	10億1,922万円
収益的支出	9億3,464万円
資本的収入	3億7,964万円
資本的支出	6億4,551万円
水洗化戸数	16,020戸
年間排水量	379万1,120m ³
1日平均排水量	10,387m ³

主な質疑

Q 観光客を呼ぶ方策としてデザイン
マンホールの検討はしないのか。

A 令和4年度に165万円を予算
計上している。



長崎市のデザインマンホール

用語 解説

収益的収支…主に維持管理の関係
資本的収支…主に設備投資の関係

収入＝使用料、負担金
収入＝補助金、借入金

支出＝維持管理費、人件費
支出＝事業費、償還金

全会一致
可決

消防浜田出張所に搬送用アイソレータ導入へ

3年度一般会計補正予算（13号）

既定の予算に歳入歳出それぞれ4634万円を減額し、総額161億9267万円としました。

子育て世帯への特別給付金

Q 子育て世帯への臨時特別給付金支給事業の300万円は何を想定しての次年度への繰り越しなのか。

A 令和4年3月中に出産し、4月に出生届を提出した時に申請した人を対象に考えている。

教育振興基金

Q 教育振興基金に一億円を積み立てるようだが、基金の残高はどの位か。

A 3年度末で4億9700万円である。

Q 図書館建設に向けて目標金額があるのか。

A 予定している額はない。



感染症患者の搬送に使用するアイソレータ

主な質疑

高田南防犯灯に交付金活用

Q 交通安全対策費の工事費はなぜ減額するのか。

A 高田南土地地区画整理地内に設置する防犯灯やカーブミラーが対象で、有利な財源である交付金を活用するための計上である。

電子図書館増冊

Q 電子図書館資料800冊の内訳は。

A 買い切り型を650冊、期間限定型を150冊予定している。



電子図書館トップページ

全会一致
可決

軍事侵攻の早期終結を願って

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する抗議の決議を全会一致で可決し、ロシア大使館へ送付しました。

2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、ウクライナへの重大な主権侵害であるとともに、このような武力による一方的な現状変更は明らかに国連憲章に違反する行為であり、国際社会の平和と安全、秩序を著しく脅かす暴挙として断じて許すことはできない。

また、プーチン大統領は今回の軍事侵攻に際し、核兵器の使用を示唆する発言をした。先の大戦で原爆によって凄惨な被害を被った本町は、その当事者として「平和で安全な町」を宣言し、核兵器のすみやかな廃絶と、紛争と戦争のない世界の実現を訴え続けており、核兵器の使用を示唆する発言や核兵器を背景とした武力行使を看過することはできない。

長与町議会は、核の脅威を背景としたロシアによるウクライナへの軍事侵攻とプーチン大統領の発言に対して厳重に抗議するとともに、ロシア軍を完全かつ無条件で即座に撤退させ、国際法に基づく誠意を持った対応によって平和的解決を図るよう強く求める。

以上、決議する。

人事案件

固定資産評価審査委員の選任

委員の任期満了に伴い、全会一致で選任に同意しました。
ご活躍を期待します。

▼委員 北島 宏昌氏（長崎市）
きたしま ひろまさ

訃報

吉岡清彦議員（8期目・無所属）が令和4年1月22日に80歳で逝去されました。

吉岡議員は、平成3年の初当選以来、総務常任委員長や議会運営委員長を歴任され、本町の発展に多大な貢献をされました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

お詫びと訂正

180号12ページに掲載してありました松林敏議員の一般質問記事に「デジタル教科書が令和6年度から導入されるので」とありますが、正しくは「令和6年度からのデジタル教科書の本格的な導入を目指すに当たって」でした。お詫びして訂正します。

可決
賛成10：反対4

敬老祝金

77歳廃止

100歳3万円減額へ

敬老祝金支給条例の改正

主な質疑

Q 敬老祝金と交通・健康づくり助成事業は関係があるのか。

A 全く別の事業だが、高齢者に関する事業として総合的に見直しをしてきた経緯がある。

Q 敬老祝金の額が時津町よりはるかに低い。理由は何か。

A 祝金は減額だが、高齢者事業は全体的に増額していることで理解をして欲しい。

Q 住民の声を聴く必要があるのではないか。

A 平成30年のアンケート結果を参考としている。説明は今後も続けていきたい。

反対討論

長年社会に貢献してきた人に感謝の意思を表明する制度だ。

賛成しなければ助成事業ができないなど言語道断である。
(堤 安部)

賛成討論

助成事業を拡充する方が広く公益性と合理性がある。
(八木)

全体で高齢者政策のボトムアップがなされると考える。
(西岡)

町長の改正に対する思い、決意を聞き感動を覚えた。
(岩永)

修正案が叶わなかった以上、原案否決は現実的ではない。
(安藤)

高齢者に対するお祝いの気持ちが変わるものではない。
(中村)

健康寿命の延伸を期待。
(金子・松林)

令和4年第1回定例会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
第1号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第11号）の専決処分の承認を求めることについて	承認（全会一致）
第2号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第12号）の専決処分の承認を求めることについて	承認（全会一致）
第3号	長与町企業立地促進助成条例	可決
第4号	長与町職員等の旅費支給条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第5号	長与町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第6号	長与町分担金徴収条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第7号	長与町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	可決
第8号	長与町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第9号	長与町消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第10号	町道路線の廃止について	可決（全会一致）
第11号	町道路線の認定について	可決（全会一致）
第12号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第13号）	可決（全会一致）
第13号	令和3年度長与町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第14号	令和3年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第15号	令和3年度長与町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第16号	令和3年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第17号	令和4年度長与町一般会計予算	可決
第18号	令和4年度長与町駐車場事業特別会計予算	可決（全会一致）
第19号	令和4年度長与町国民健康保険特別会計予算	可決（全会一致）
第20号	令和4年度長与町後期高齢者医療特別会計予算	可決
第21号	令和4年度長与町介護保険特別会計予算	可決（全会一致）
第22号	令和4年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計予算	可決
第23号	令和4年度長与町水道事業会計予算	可決（全会一致）
第24号	令和4年度長与町下水道事業会計予算	可決（全会一致）
第25号	長与町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全会一致）
第26号	令和4年度長与町一般会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
発委1号	ロシアによるウクライナ侵攻に対し厳重に抗議する決議	可決（全会一致）

賛否が分かれた議案（○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席）議長は原則採決に加わらないため※で表示

議案番号	八木 亮三	松林 敏	西田 健	浦川 圭一	中村 美穂	安部 都	内村 博法	安藤 克彦	金子 恵	岩永 政則	堤 理志	河野 龍二	竹中 悟	西岡 克之	山口 憲一郎	審議結果
第3号	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決
第7号	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	▼	▼	○	○	※	可決
第17号	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	▼	▼	○	○	※	可決
第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	※	可決
第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	※	可決

■棄権：議員自らの意思により表決に参加しないこと。 ◆除斥：議員は自らに利害関係のある事件の議事に参与することができないこと。

10人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内に要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町議会ホームページで閲覧できます。

会議の 中継・配信

本会議の模様を、ユーチューブでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

10	岩永政則 議員	① 令和3年度重要施策の実行状況と今後の対応について ② 農業委員会の施政方針と農地行政の適正化について ③ 教育委員会の教育方針と主な施策の基本的な考え方について
11	八木亮三 議員	① 投票率アップのための取組について ② 三彩橋付近の護岸の亀裂の影響について
12	内村博法 議員	① 本町の地球温暖化防止活動について ② 学校のタブレット端末について
13	金子恵 議員	① 教育行政について
14	西岡克之 議員	① ごみ行政について ② 特定健診について
15	堤理志 議員	① まち・ひと・しごと創生総合戦略について
16	西田健 議員	① 町の将来を見据えたまちづくりについて
17	河野龍二 議員	① JR駅の業務縮小について ② 高齢者交通費・健康づくり助成事業について
18	安部都 議員	① 学校給食の無償化と有機栽培・オーガニック給食の導入について
19	中村美穂 議員	① イメージキャラクターミックスの活用について ② ギガスクール構想導入の現状について



役場来客用駐車場を立体化に

回答 周辺の土地の利活用を研究



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



台数が少ない役場の駐車場

■議員 役場の駐車場が狭いとの指摘がある。現在何台のスペースがあるのか。

■町長 来客用として69台、障害者専用4台の73台(※)。

■議員 公用車庫と隣地を含め、立体的な駐車場に改築すべきと思うがどうか。

■町長 議員指摘のとおり不便をかけている。立体駐車場については、役場周辺の土地の状況を踏まえ、利活用を研究していきたい。

人口減少対策

■議員 移住定住による1年間の人口増加は何人か。

■町長 9世帯14人である。

■議員 本町の人口増加の要因は、住宅団地開発による社会増である。これらを踏まえて市街化調整区域を市街化区域に編入し、新たな市街地の形成を行い、人口増加を図る考えはないか。

■町長 人口減少が予想される中、新たな市街地の形成を図ることを目的とした市街化区域への編入は厳しいものと考えている。市街化調整区域である東・西高田地区、斉藤地区、三根地区は市街化を抑制すべき区域であり、開発行為は県の許可が必要となる。詳細な検討を行い、慎重な判断が必要である。

新図書館建設

■議員 新図書館建設のために準備室を設置するとの表明があったが、どこにどのような規模で設置するのか。

■町長 令和4年度から、政策企画課に係を設置する。

■議員 建設は8年度との表明があったが、建設財源の見込みは立ったのか。

■町長 教育振興基金や町債の活用を主として検討している。

■議員 水道の新浄水場を長崎市と共同整備することだが、時津町はメリットがないという理由で参画しないそう。それでは本町にはどのようなメリットがあるのか。

■町長 老朽化している本町の第1浄水場を町単独で整備する場合と比較し、建設費および維持管理費が安価で済む。また、新たな水源を確保できるというメリットもある。新浄水場共同整備を進めることで、持続可能な水道事業経営の確立を目指したい。

問 農地の改良は届出どおりの利用を

答 届出と異なる場合は指導している

議員 農地改良の届け出

後、農地として利用されていない場所があるようだが、指導を強化すべきではないか。

■農業委員会会長 届け出内容と異なる場合は是正指導を行っている。

問 学校でのいじめの現状と対応は

答 学校全体で組織的に対応している

■議員 本町のいじめや不登校の現状と対応はどうか。

■教育長 いじめに対しては迅速・丁寧に初期対応を行うと共に、必要に応じてカウンセリングを実施し、その後も継続して見守るなど、担任や学級だけでなく、学校全体で組織的に対応している。不登校については、保健室など別室への登校やカウンセリング、家庭支援、適応指導教室などの紹介を行っている。

※別に公用車庫が27台あり、合計100台。



入場券に選挙公報の QR コードを

回答 有効だと思われるので検討する



この QR コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



投票所入場券こそ有権者に必ず行き渡る最も有効な選挙公報の周知手段

■議員 本町での投票率は

この10～15年ほどで10%程度下がっている。選挙は国民の政治参加の貴重な機会であり、より多くの町民の意思を

町政に反映するためにも投票率を上げる取組は重要である。本町の取組にはどのようなものがあるか。

■町選挙管理委員会委員長

北陽台高校での講話や成人式でのチラシ配布などの啓発活動、同報無線での投票呼びかけ、SNSでの周知活動などを行なっている。

■議員 候補者選定の情報

源であり投票のきっかけにもなる選挙公報の配布方法はどのようなになっているか。

■委員長 新聞折り込みの

他、役場など15の町内公共施設に置き、ホームページにも掲載している。

■議員 ホームページへの

掲載は効果的だが、掲載を周知することが大切である。投票所入場券に掲載ページのQRコードを印刷できないか。

■総務課長 印刷スペース

などに工夫は必要だが、有効な手段だと思うので今後検討する。

■議員 期日前投票所が役

場1カ所だけだが、もともと町民が日常的に利用する大型スーパーなどを投票所にできないか。

■町選挙管理委員会委員長

交通の利便性などから役場に行っているが、投票率が低下する中、投票しやすい環境整備は必要なので検証はしたい。

■議員 投票所から遠く、車もない高齢者などのために

移動投票所は導入できないか。

■委員長 人員の確保や導

入の有効性などを研究していきたい。

問 側道橋工事は護岸に影響しないか

答 影響のない工法を採用している

■議員 1月に三彩橋付近

の長与川護岸に大きな亀裂が入り町民が不安と不便を感じている。当該箇所の長与川の水を抜くことで県による復旧が早まるならば町は協力すべきと思うが、どのような状況か。

■町長 水中コンクリート

などを使用して、水を抜かずに行える工法ですでに工事が進んでいる。

■議員 亀裂の原因の一つ

は護岸の老朽化と聞いている。すぐ上流の定林橋の側道橋設置工事は直径40センチメートルの鋼管杭を両岸に複数本打ち込む工法だが、施工時の振動で護岸が破損しない

かなどの設計の見直しは必要ないか。

■町長 事前に県河川課と

協議した上で護岸に極力影響のない工法を採用しているので見直しは行わないが、もしも施工中に影響が確認されたら県と連携し対応する。

■議員 護岸が老朽化して

いるということなら、県に長与川の護岸全体の点検を要望すべきではないか。

■町長 今回の被災を受け、すでに申し入れを行った。



県による復旧工事が進む長与川護岸（斉藤郷）



地球温暖化対策実行計画の進捗は

回答 4年度の策定へ向けて現在準備中



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



海に放流されている下水道処理水の活用を急げ
(長与浄化センター)

■議員 昨年3月の「ゼロカーボンシティ長与」宣言後、1年経過しているが、長崎市、時津町との地球温暖化対策実行計画の共同策定の進捗状況はどのようになっているか。

■町長 本町から排出された温室効果ガス排出量の算定および排出状況など、各種数値の算定調査分析業務が完了し、令和4年度の策定へ向けて準備を進めている。

■議員 海に放流している下水道処理水の資源有効活用の検討状況はどうなっているか。

■町長 下水道処理水は、年間380万立方メートル程度発生し、その一部は場内での再利用やクリーンパーク長与での焼却炉の温度管理用に年間約4万立方メートル提供するなど、有効利用を図っている。また、希望者には、湧水

■議員 学校のタブレット端末を家庭内で盗難、紛失、破損した場合の費用負担はどうなるのか。また、家庭内でのセキュリティ対策や情報モラル教育はどのように対応しているのか。

■教育長 家庭内での盗難、紛失、破損については、長与町iPadの学習活用ガイドラインにより、その費用を保護者が負担するように取り決めている。また、セキュリティ対策やモラル教育についても、このガイドラインの中で、保管の仕方や、安全な

問 ICTをサポートしていく体制は

答 4年度から支援員2名体制となる

時における畑などへの散水用としての提供なども行っているが、そのほとんどを大村湾に放流している状況である。今後は、処理水再利用の社会的意義や効率的な水循環を考え、費用対効果などを勘案しながら調査研究していく。

■議員 現在、教職員はプログラミング教育やコロナ感染対策、さらにはタブレット導入など、大変多忙と思われる。教職員の負担軽減を図るため、タブレット端末を含むICT(情報通信技術)をサポートしていく体制はどのようになっているか。

■教育長 県から配置されているICT支援員が、長与中学校を拠点に各校を巡回し、ICT利活用の援助を行っている。主な業務内容は、機器の設定やメンテナンス、機器使用に係る教員および児童生徒への操作支援になる。令和4年度からは、町においても教育委員会常駐の支援員1名を配置するための予算を計上している。県において支援員の加配措置が4年度もなされた場合は、県と町の支援員の2名体制となる。



かねこ 恵 議員

どうなる 土日の部活動地域移行

回答 5年度をめどに進めていく



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

■議員 町第2期教育振興基本計画は第10次総合計画の教育部分を担っている。この計画を推進するためのビジョン、未来像は何か。

■教育次長 国際化への対応、ソサエティ5.0（※1）の実現に向けての急速な技術革新、SDGsへの取組など社会状況が大きく変わろうとしている中で、子どもたちが生き抜くための必要な力を身につけ、活躍できるようにするために、教育が果たす役割として取り組んでいく。

■議員 計画の中の家庭教育学級の具体的な内容は何か。また、令和元年度の実績3回に対し7年度の目標値が24回になっているが、その根拠は何か。

■生涯学習課長 子どもの教育の原点は家庭にあるということを再認識してもらうため、発達段階に応じた適切な対応について学習を深めるものである。また、小中学校の保護者を中心に開催していたが、現在は乳幼児の段階から

基礎を培うという観点から保育園幼稚園などでも年1回以上の実施をお願いしている。

■議員 大村湾を生かした海洋スポーツの推進とは具体的にどのようなことを計画しているのか。

■課長 ペーロン大会に対する支援、長与港でのアクアスロン大会に対する支援、潮井崎海岸でのSUP（※2）体験事業の開催を計画している。

部活動の地域移行

■議員 教員の働き方改革の一環として文部科学省から土日の部活動地域移行が求められている。本町の現状と今後の対応はどうなっているか。

■教育長 長与スポーツクラブに再委託し、長与中学校卓球部を中心に先行実施を行うとともに、他の部活動への普及を目指している。地域移行への理解を深めていくことが先決であり、移行の際の受け皿や指導者確保、指導者への

の謝金、スポーツ機会の公正な提供など課題は山積している。今後、スポーツ庁が示す令和5年度から一つのめどとして可能なところから進めていく。

■議員 4年度の地域運動部活動事業に約100万円が計上されているが、内訳は何か。

■教育委員会理事 基本的には再委託に係る指導者謝金、町地域部活動推進委員会参加者への謝金である。

■議員 受け皿として長与スポーツクラブに委託とのことだが、継続的に運営するためには予算措置が必要である。どのように支援していくのか。



土日の部活動
誰もが参加しやすい仕組みづくりを！！

■理事 文部科学省、スポーツ庁は基本的には受益者負担という発想である。その中で困窮家庭などへの対応は一定必要になると思われる。しかし、受皿を担う団体に対しては検討しているが厳しい状況にある。

※1 ソサエティ5.0

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

※2 SUP

サップ。ボードの上に立ち、1本のパドルで左右を交互に漕ぎ、水面を進むウォータースポーツ。



粗大ごみの排出 高齢者には負担



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 処理券の販売方式など検討する

■議員 本町ではこれまで粗大ごみは無償で処理してきただが、新年度より有償となる。そこで、いくつかの問題点が考えられる。まず、粗大ごみの定義は何か。また、出し方はどう変わるのか。

■町長 長さ1メートル以下かつ重さ30キログラム以下は料金が1個につき550円、1メートルを超え2メートル未満または30キログラムを超え60キログラム未満は1100円となる。1世帯あたり1日2個まで出せる。排出方法については、電話か住民環境課窓口で申し込みをし、排出日と排出場所を決める。次に処理券を購入し、粗大ごみに貼ってもらい、指定された日時・場所に粗大ごみを排出してもらう。

高齢者には負担

■議員 自宅玄関前などに出すように求めているが、可能なら人ばかりではないと考える。例えば、一人暮らしの非力な高齢者についてはどう対応す

るのか。処理券の販売所は役場、または最寄りの町指定施設となっている。高齢者、社会的弱者にはかなりの負担になると思うがどう考えるか。

■住民環境課長 高齢者への対応は今まで親族や近隣の人、自治会でボランティア対応してもらうなど、現状は協力を仰ぐしかない。処理券の販売先は、今後金融機関なども含め検討していく。

■議員 社会的弱者への料金軽減措置などは考えられないか。また、有償化により不法投棄の増加が考えられるが、対策はどう考えているか。

■町長 料金の軽減措置は現在行っていないが、研究・検討していく。不法投棄については、担当課、警察、郵便局など関係機関の常時パトロール、不法投棄される可能性がある場所への看板設置や、ホームページなどを通じて啓発を図る。

■議員 紙ごみの回収方法がステーション回収へと移行するが、出し方はどのように

なるのか。

■町長 月2回、現在と同様の排出方法で出してもらうことになる。内容を分かりやすく丁寧に説明し、周知していく。

問 特定健診 現在の実績は

答 徐々に向上傾向である

■議員 特定健診の実績はどうなっているか。

■町長 当初の受診率は20%台だったが徐々に向上



国保特定健診受診率等の推移（長与町健康保険課）

し、近年50%弱にまで上昇した。

■議員 腎機能の低下がみられる住民に対してA B I検査（※）を受診するよう勧められている自治体があるが、本町ではどうか。

■健康保険課長 本町では重症化予防事業で対応しており、A B I検査を導入する予定はない。

※A B I検査
足の血管の狭さなどから、糖尿病のリスクなどを測定するもの。



医療費助成 高校生まで拡大を

回答 研究を進めていく



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

■議員 コロナ禍でサービス業を中心に厳しい経済状況の世帯が増加している。子ども医療費助成の拡大は子育て支援に取り組み町としてのインパクトが増大し、若い世代に長崎市近郊で一番移住したい町として認識されると考える。対象年齢を高校生までに拡大することが必要ではないか。

■町長 令和4年度は子育て環境整備や妊産婦への支援を重点的に取り組む予定にしている。今後は高校生を持つ家庭の負担軽減も研究を進めていく。

長与三彩で町興し

■議員 コロナ感染症が世界的パンデミックとなり、弱い立場の人を直撃し、社会の在り方が根本から問われ、地方で心豊かな生活を送るスタイルが見直されつつあると感じる。コロナ収束を見据え、今のうちに地域おこしを生み出すアイデアを検討する必要がある。幻の焼き物といわれる長与三彩を復活させ、県内の窯元に生産を委託することができれば、新たな町の振興につながると思うがどうか。

■町長 今後、長与焼や長与三彩の調査が進み、方向性などが決まれば、新たな人の流れを生むような起爆剤となるよう関係機関と協力し研究していきたい。

やさしい町づくり

■議員 複数の世帯から、家庭の経済状況や私生活に関する情報が近所に広まり生活しづらいという相談を受けている。今後、移住定住を促進するためには住民の融和を促進し、さまざまな思想信条や宗教などの違いに寛容な町でなければならぬ。町として自治会やコミュニティのさまざまな機会にプライバシーへの留意や人にやさしい地域づくりを周知する必要があると思うがどうか。

■町長 町の将来像として人と人のつながりがある、安心して暮らせる町を掲げているので、親睦や融和を促進していくことは大変重要である。質問にあった事例が解消されるような地域社会を目指し、周知に努めたい。



高校生にも医療費助成している市・町って増えてるらしいよ

■議員 役場窓口で個人情報^{しじょうじ}の執拗な要求など、法律や条例に触れる請求が続くケースを想定し、対策を講じる必要がある。個人情報の保護と

役場職員の円滑な業務を進めるための対応はどうか。

■町長 個人情報^{しじょうじ}を要求する人へは、外部提供できない旨を説明し理解を求めている。しかし、不当な要求が続く場合には、危機管理専門員を活用し、庁舎内で連携し、毅然とした対応に努めている。



将来を見据えた民間活用の検討を

回答 官民連携手法の導入を検討する



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■議員 将来を見据えたまちづくりを検討する上で、民間活力の導入の考えについて問う。

■町長 インフラの運営・更新等の効率化や、行政サービスの向上が期待できる事業については多様な官民連携手法の導入、民間のノウハウや資金の活用などを検討していく。

■議員 ファミリー層が利用できる飲食店や衣類・電化製品の店舗が少ないとの声を聞くが町としてどう考えているか。

■町長 若者アンケート調査において、将来伸ばしたい町のイメージとして「こだわりのショップが多くおしゃれな町」が最多であった。今回の定例会において新たに事業所を開設する比較的小規模な事業者へ助成する議案を上程しており、町内に事業所を設置する場合に活用してもらうよう、商工会や関係機関と連携を図りながら周知を行い、商業の活性化に努めたい。

ごみの適正な処理

■議員 ごみの減量化対策が求められているが、ごみ排出抑制の具体的な取組の考えは。

■町長 ごみの発生抑制を図る活動としては家庭用生ごみ処理機の普及促進や食品ロス削減などの啓発活動を行ない、一人一人の意識付けを



ごみの少ない環境にやさしいまちづくりを

行っていくことが重要と考えている。再利用の促進については、コロナ禍以前は子ども用品を中心としたおゆずり会を開催するなどの活動を行っていたが、物品の安全性、修理事件などを考えると町が主体となつて大々的に行うことは難しいと考えている。リサイクルについては、分別資源回収を先進的に行なつてお

地域福祉の充実

■議員 「地域で支え合う体制づくり」の具体的施策は

■町長 日常生活における地域での支え合い体制づくりを構築する生活支援体制整備事業に取り組んでいるところである。

■議員 避難行動要支援者個別支援計画の作成状況はどうなっているか。

■町長 現状の問題点としては、避難支援担当者の確保が大きな課題となっているが、今後は地域だけでなく関係機関からも協力が得られるよう協議を進めていく。



JR 駅を誰もが利用できる環境に



この QR コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 粘り強く求めていきたい



窓口業務が縮小された
JR 長与駅

■議員 JR九州は、今年3月から29駅を無人化し、48駅で切符の窓口販売を廃止すると広報した。長与駅も昨年2月から営業時間の短縮が行われており、車いす利用者が乗車できないなどの問題があっている。今回の無人化や営業時間の短縮は本町と協議しての内容なのか。

■町長 昨年10月にJR側から業務運営の効率化に向けた変更の説明を受けた。本町も車いす利用者への対応などを考えると受け入れがたく、現状の体制を残してほしいと要望した。

■議員 無人化などの影響はどのように考えているのか。

■町長 駅員不在時の即時対応が可能なのが懸念される。

■議員 無人ホームで事故が起きた場合などへの対応は説明はあったか。

■政策企画課長 運転乗務員がホーム近くで徐行して対策を取るとの説明を受けた。

■議員 列車が近づかないと対応できない内容で、乗客がホームへ落ちた場合などに対応できないのではないかと。

■課長 他の乗客がいればの話だが、他の乗客が救急の連絡をしてくれるのではとの回答だった。

■議員 JRの対応はあまりにも無責任である。大分県日田市では天ヶ瀬駅の無人化

に抗議し、JR側が市に委託料を払って対応をするようになったとの記事を見たが、本町も駅の全面バリアフリー化などと併せて要望するべきではないか。

■町長 改善できるように粘り強く要望していきたい。

■議員 今回の無人化や営業時間短縮は、本町の今後の発展にも影響を及ぼすのではないかと懸念する。利用者が少ない路線はこれまでも第三セクターや廃止路線となっており。このようなことにならないように対応すべきではないか。

■政策企画課長 JRは重要なインフラである。今後、町宅地開発による需要増も見込まれるので、JRの必要性を要望していく。



交通助成券の拡充が
求められる

問 タクシー利用券の増額を

答 1500円を2500円に増額

■議員 健康づくり助成事業でタクシー利用券があるが、1500円では少ないとの声がある。増額の考えはないか。

■町長 平成30年にタクシーにも利用できるようなになり好評だが、要望もあり、今回2500円に増額する。

■議員 他の自治体は5000円や6000円となっている。もっと増額できなかったのか。

■福祉課長 本町では70歳以上の全町民に利用券を配布している。他の自治体とは制度が違う。今後もこの方向で進めていきたい。



回答 現段階での提供は考えていない

この QR コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



広告塔としてミクンの活用を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 町の顔としてもっと広めたい



ミクングッズ 役場3階で販売しています

■議員 町イメージキャラクターミクンとミクンファミリーの活用事例にはどのようなものがあるか。

■町長 ナガヨミクンは平成11年の町制施行30周年記念として町を広くPRするために一般公募したもので、ミクンファミリーは平成23年度より町のご当地キャラクターとして登場した。活用については、広報誌や各種イベントの印刷物の挿絵として掲載するほか、ラインなどのSNSを通してイベント情報や行政情報などを発信している。

■議員 イベントや行事の出演はどうなっているのか。

■町長 令和3年度はV・ファアレン長崎の長与町サンクスマッチ、秋のウォーキングイベントに参加している。コロナ禍で出演回数が減少している。

■議員 キャラクターグッズの販売は役場3階秘書広報課カウンターと、まんてんで販売されているが、分かりにくいのではないか。

■秘書広報課長 役場1階のショーケースの見せ方なども工夫していきたい。

■議員 公用車にミクン

マグネットやシール、初心者マークのような物を作成してみてもどうか。

■総務部長 マグネットあるいはシールで認知を図りたい。

■議員 ふるさとに対する思いや愛着を育むために、広告塔としてどんどん活用してほしいと思うがどうか。

■町長 長与町の顔としてもっともっと広めていきたい。

問 ギガスクール構想機器の更新は

答 自治体で考える必要がある

■議員 ギガスクール構想の現状について、校内のインターネット環境に問題はないのか。

■教育長 各校内には高速大容量のアクセスポイントを随所に設けており、通信状態はおおむね良好で問題はない。

■議員 特別教室や体育館には入っていないと思うが、

どうか。

■教育総務課長 特別教室にはアクセスポイントがいくつかの教室に1つある。体育館には入っていないが、今後必要性があれば、財政状況を見ながらそろえる必要もある。

■議員 タブレット端末は重さがあるが、持ち帰りへの配慮はあるのか。

■教育委員会理事 教科書類は基本的に学校に置いても良いとしているので、宿題のある教科書のみ持ち帰っている。

■議員 タブレットの耐用年数はどれくらいか。

■教育総務課長 5年程度と考えているが、すぐに使えなくなるという事ではない。

■議員 更新について国から情報はあるのか。

■課長 国からの情報は何もない。自治体で考えていかなければならない。

次の定例会は **6月7日(火)** 開会の予定です。

長与町議会 (定数16)

本会議を **YouTube** で配信しています。

動画はこちらから

長与町議会では令和2年3月定例会から、新型コロナウイルス感染症拡大防止と、傍聴に来られる皆様の健康を守るため、傍聴の自粛をお願いしております。

本会議の様様をYouTubeで公開しておりますので、どうぞご覧ください。



後列： (故)吉岡清彦 竹中 悟 西岡克之(副議長) 山口憲一郎(議長)
 中列：中村美穂 安部 都 内村博法 安藤克彦 金子 恵 岩永政則 堤 理志 河野龍二
 前列：八木亮三 松林 敏 西田 健 浦川圭一

議長交際費

(令和4年1月1日～3月31日)

香典・生花スタンド等	88,850円(4件)
激励カンパ	20,000円(1件)
その他	0円(0件)
支出合計	108,850円(5件)



撮影者：田端莉瑠さん

(県立大学シーボルト校写真サークル Sun-Films ぱしゃ。)

タイトル：いつもの道

毎日のように見る道だけど、たまに早起きするとこんなにも綺麗だったんだなと思って撮影しました。坂も歩くと辛いけど、写真で見るとこれはこれでいいなと思いました。

表紙の写真

編集後記

故 吉岡清彦議員を悼む

将来訪れる高齢化社会を見据え、環境問題、高齢化社会問題を提起され、終始一貫資源化物の収集問題を追究した姿勢は議員の誉であり、また多くの住民の代弁者としての麒麟児であった。特に一般質問での資源化物収集問題は、平成15年から始まり没年まで20年間に及んだ。ついには行政も重い腰を上げ、ステーション回収に舵を切った。また、議員は「仮名論語」「『大学』を素読する」を執筆された伊與田覺先生を崇拝し、長与町に人根塾を創設し、人間の本来の在り方、王道(儒教で説く、王が徳をもととして国を治めること)を提唱され、その信念の下行動された尊敬に値する議員であった。

(竹中悟)

議会広報広聴
常任委員会

委員長 八木 亮三
 副委員長 安部 都
 委員 松林 敏
 西田 健
 中村 美穂
 内村 博法
 安藤 克彦
 竹中 悟



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まない NON-VOC ベジタブルインキで印刷されています。